



みんなで応援しよう！東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会



東京オリンピックまで
あと **210** 日

11月8日(日)～23日(月)

東京オリパラレガシー創出事業 「パラオフェア2020&常陸大宮市主催 オリンピック・パラリンピック スポーツフェスティバル」開催!!

パラオ共和国のホストタウンである本市は、ホストタウン交流計画に基づき、11月8日から23日まで「パラオフェア2020&常陸大宮市主催 オリンピック・パラリンピック スポーツフェスティバル」を開催しました。11月8日、15日、21日はパラオを知り、体感してもらうことを目的に、「パラオフェア2020」と題し、パラオ伝統文化体験を中心としたイベントを、23日には、来年開催される東京2020大会の機運醸成等を目的に、オリンピック・パラリンピック競技体験会やオリンピック・パラリンピアンとの交流会等を実施しました。

今月号では、「パラオフェア2020」について紹介します。
※今回のイベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るため、参加者を事前申込・市民限定とし、検温・消毒等を徹底して実施しました。



▲受付の様子

11/8,15,21 太平洋の楽園 パラオ共和国を体感しよう！ パラオ伝統文化体験

会場：道の駅みわ、道の駅常陸大宮、ショッピングセンターピサーロ

○イタボリ・パンダナスコースターづくり体験会

パラオの伝統工芸品「イタボリ※」を作る体験会では、世界3大高級木材のマホガニー（パラオ産）に、参加者がそれぞれ自由に描いたカメやイルカなどを彫刻刀で彫り、電動糸鋸で円かたどった後、靴墨で磨き上げコースターを完成させました。体験後、参加者からは「彫ることが難しかったけれど、とても楽しく、また体験したい」などと感想がありました。

パンダナスの体験会では、乾燥したパンダナスの葉2枚を組み合わせてコースターを作りました。「植物の葉でコースターができるなんてすごいと思った。大切にしたい」などと声がありました。

※イタボリ…パラオの民話や神話を彫った木の板で、パラオでは土産品にもなっています。（詳しくは令和2年7月号広報に掲載）



▲マホガニーを彫る様子



▲パンダナスコースターづくり体験



イタボリ・パンダナスコースターづくり 講師：佐藤 丈さん

3日間にわたりイタボリ・パンダナスコースターづくり体験に協力してくださったのは、佐藤丈さん。佐藤さんは、高校在学中にイタボリに興味を持ち、卒業後パラオへわたり、パラオ人アーティストのリン・イナボ氏のもとでイタボリの修行をした経験を持つ新進気鋭の若手木工職人です。



▲パイパーパーククラフト体験



▲木(金)メダルづくり体験

○パイパーパーククラフトづくり体験会&木(金)メダルづくり体験会

パラオの歴史的建造物「パイ」（詳しくは令和2年5月号広報に掲載）を紙で組み立てて作る体験会では、細かい作業に子供たちだけでなく、大人も夢中になって取り組んでいました。

また、常陸大宮産の杉やヒノキを輪切りにし、好きな絵を描き色を染めて自分だけのメダルを作る体験会では、パラオをイメージした絵を描く子供たちの姿が多くみられました。完成したメダルを首から下げ嬉しそうにする参加者からは、「メダリストになった気分、とても楽しかった」などの感想がありました。

3日間で34組85名の市民の皆さんがパラオの魅力に触れ、笑顔あふれる体験会となりました。

パラオフェア2020 スペシャルイベント

パラオ伝統文化体験のほかに各会場限定のイベントも行われました！

11/8 パラリンピック正式競技 ボッチャ体験会

協力：医療法人博仁会 志村大宮病院



▲ボッチャ体験会

会場：道の駅みわ★ふるさと館 北斗星

パラリンピック正式競技である「ボッチャ」の普及推進に取り組んでいる医療法人博仁会志村大宮病院の理学療法士の皆様にご協力をいただき、ボッチャを身近に感じてもらう企画として体験会を実施しました。体験会には、老若男女60名が参加し、誰でも簡単にできるパラスポーツの魅力を感じました。

11/8-23 パラオアレンジフード等販売

協力：各道の駅、常陸大宮高等学校商業科 市内ケーキ店



▲パラオアレンジフード(道の駅みわ)



▲アイランドパフェ(道の駅常陸大宮)



▲市内ケーキ店のパラオをイメージしたケーキ

パラオフェア期間中、各道の駅や常陸大宮高等学校商業科（HIKOホールディングス㈱）などの協力で、パラオの料理をアレンジしたフード販売をしました。販売したパラオフードは、どれもアジダイジョーブ（パラオ語で「おいしい」の意味）で完売する商品も多くありました。

11/15 東京2020大会カウントダウンボード発表セレモニー～オリンピックまであと250日～

協力：常陸大宮高等学校工業科・情報技術科

会場：道の駅常陸大宮～かわプラザ～



▲披露されたカウントダウンボード

東京オリンピック開会式まであと250日となったこの日、県立常陸大宮高等学校工業科・情報技術科の生徒がパラオをイメージし製作したカウントダウンボードの発表セレモニーを鈴木市長、駐日パラオ共和国大使館マツタロウ特命全権大使の出席のもと行いました。ボードには、発光ダイオード（LED）を使用しカラフルにカウントダウンされる日付表示のほか、世界複合遺産であるパラオの「ロックアイランド」や内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局から認証されたロゴマークが印刷されています。

東京2020大会開幕まで市内3ヵ所（道の駅常陸大宮／西部総合公園体育館／ショッピングセンターピサーロ）に設置されていますので、各設置場所にお越しの際は、カウントダウンボードをぜひご覧ください。

パラオ観光協紹介 ～パラオのとおきおきの歩き方教えます！～ 講師：パラオ政府観光局日本事務所 芝村 剛代表

パラオの観光地である、クラゲと一緒に泳ぐことのできる「ジェリーフィッシュレイク」やイルカと触れ合える「ドルフィンズパシフィック」などの紹介がありました。

参加者からは、「ぜひ、パラオに行ってみよう！」「映像だけでもパラオを感じる事ができてうれしい！」との声がありました。



▲パラオ観光地を紹介する芝村剛代表



映像を交えた説明▶

11/21 パラオオンラインスペシャルツアー ～パラオの海3大観光地を巡ろう！～

会場：常陸大宮ショッピングセンターピサーロ

パラオの海3大観光地を巡るオンラインツアーを通して、約40名の参加者が1時間のパラオ旅行を満喫しました。成田空港を離陸し、世界初の環境を守る誓約書「パラオ誓約」に自署しパラオへ入国。パラオでは、現地ガイドの案内で、美肌効果抜群の海底に沈殿する白い泥を体に塗ることができる「ミルクウェイ」や干潮時にしか見ることのできない「ロングビーチ」などを大型スクリーンで体感しました。

ツアー参加者からは、「コロナ収束後、本当のパラオを親子で旅行したい」との感想があり、東の間の旅行気分を味わいました。



▲オンラインツアーの様子



▲現地ガイドによる説明

11月23日(月)に実施しました「常陸大宮市主催 オリンピック・パラリンピック スポーツフェスティバル」については令和3年1月号に掲載する予定です。